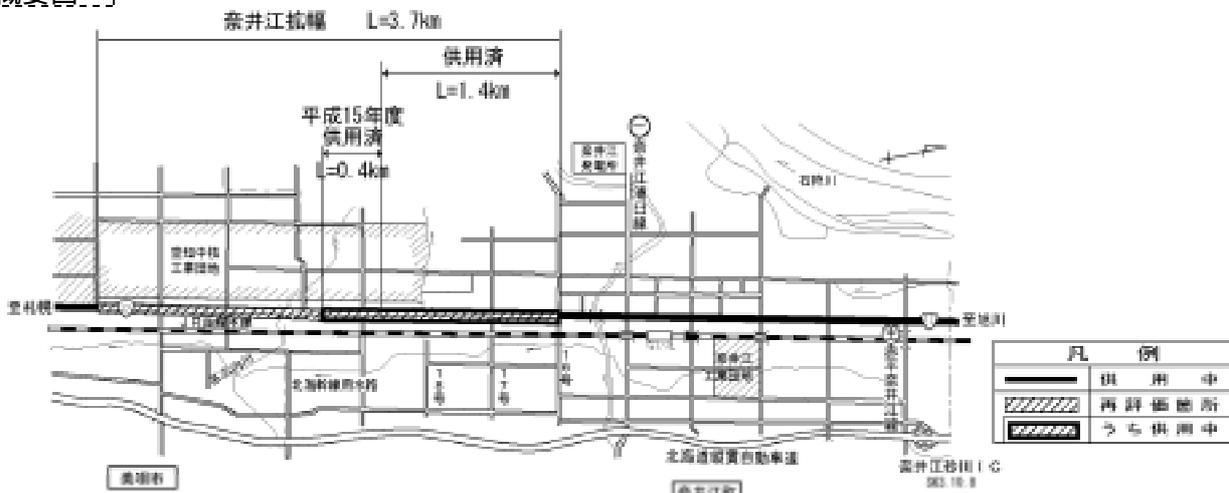


再評価結果（平成16年度継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

| | | | | |
|---|--|--|--|-----------------------------------|
| 事業名 一般国道12号 奈井江 ^{ないえ} 拡幅 | 事業区分 一般国道 | 事業主体 国土交通省 北海道開発局 | | |
| 起終点 自：北海道美 ^{びばい} 唄 ^{ちやしない} 市茶志内町2区 至：北海道空知郡奈井江 ^{そらち ないえ みなみ} 町南町2区 | | 延長 3.7km | | |
| 事業概要 一般国道12号は北海道の中核都市である札幌市を起点とし、道北圏の中核都市である旭川市に至る延長約14.5kmの主要幹線道路である。 このうち奈井江 ^{ないえ} 拡幅は、奈井江 ^{ないえ} 市街の交通混雑の緩和や物流の効率化を図るとともに、地域プロジェクトの支援などに寄与することを目的とした延長3.7kmの2次改築事業である。 | | | | |
| H元年度事業化 S54年度都市計画決定 H4年度用地着手 H4年度工事着手 | | | | |
| 全体事業費 約5.2億円 事業進捗率 73% 供用済延長 1.8km 計画交通量 22,900台/日 | | | | |
| 費用対効果分析結果 | B/C ^{!!} (事業全体) 6.1 (残事業) 18.5 | 総費用 ^{!!} (残事業)/(事業全体) 9/4.6億円 (事業費：9/4.6億円 維持管理費：0/0億円) | 総便益 ^{!!} (残事業)/(事業全体) 174/27.9億円 (走行時間短縮便益：167/261億円 走行費用減少便益：3/12億円 交通事故減少便益：3/6億円) | 基準年 ^{!!} 平成15年 |
| 感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動 B/C=6.7(交通量+10%) B/C=5.6(交通量-10%) 事業費変動 B/C=5.7(事業費+10%) B/C=6.7(事業費-10%) 事業期間変動 B/C=5.5(事業期間+20%) B/C=6.5(事業期間-20%) | | | | |
| 事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（年間渋滞損失時間の削減が期待される） ・物流効率化の支援（農産品の流通の利便性向上が見込まれる） 他6項目に該当 | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 岩見沢市をはじめとする関係10市16町1村の首長で構成される北海道空知地方総合開発期成会より、毎年事業促進の要望を寄せている。 | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 奈井江 ^{ないえ} 町では、平成7年に道の駅「ハウスヤルビ奈井江」がオープン。平成13年には、空知中核工業団地内に「ライスターミナル」が完成し、奈井江・砂川から米が搬入されている。 | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 平成15年度までにL=1.8kmを供用している。 | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き用地取得が順調に進めば、平成17年度頃に全線供用予定である。 | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 再生材の活用、耐流動性舗装の採用による耐用年数の向上、現場打ち擁壁からプレキャスト擁壁への変更等によりコスト縮減を図っている。 | | | | |
| 対応方針 事業継続 | | | | |
| 対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 | | | | |
| 事業概要図 | | | | |
|  | | | | |

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。